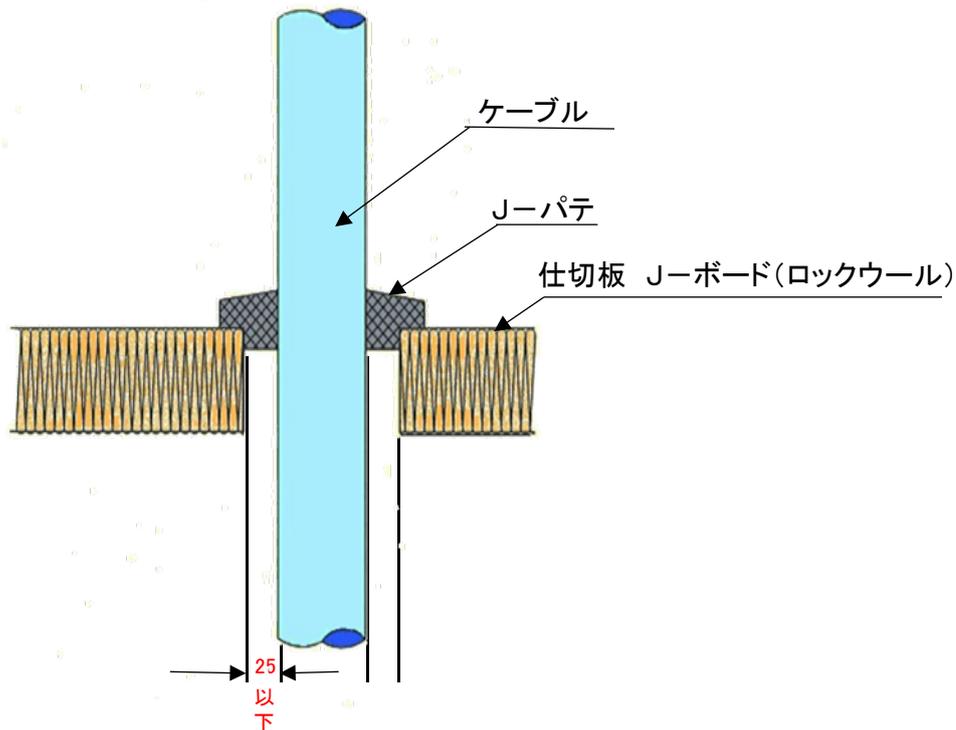


# 施工に関する注意点

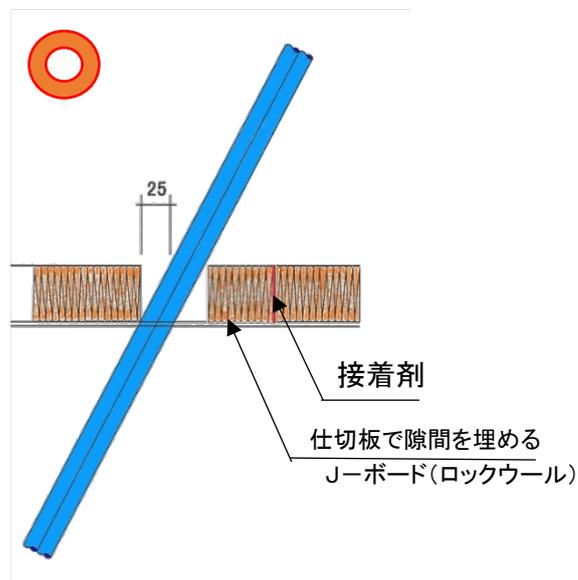
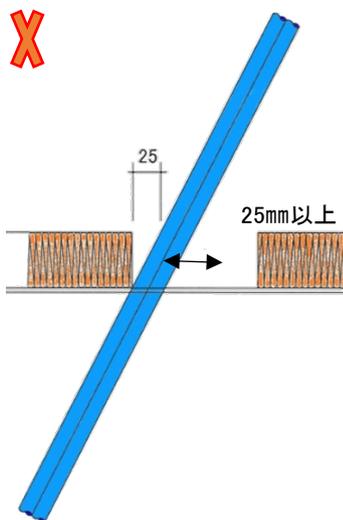
## 1 隙間

後通線後のケーブルと仕切板 J-ボード(ロックウール)の隙間は**25mm以下**でお願いします。  
25mm以上の場合、仕切板 J-ボード(ロックウール)を詰めて基準内に収めて下さい。  
その場合、接着剤(ニチアス インシュレーションアドフェックツ<sup>®</sup> 推奨)をご使用願います。



## 1-2

斜め方向にケーブルが来る場合も同様に、**25mm以下**になるよう仕切板 J-ボード(ロックウール)を詰め基準以下に収めます。

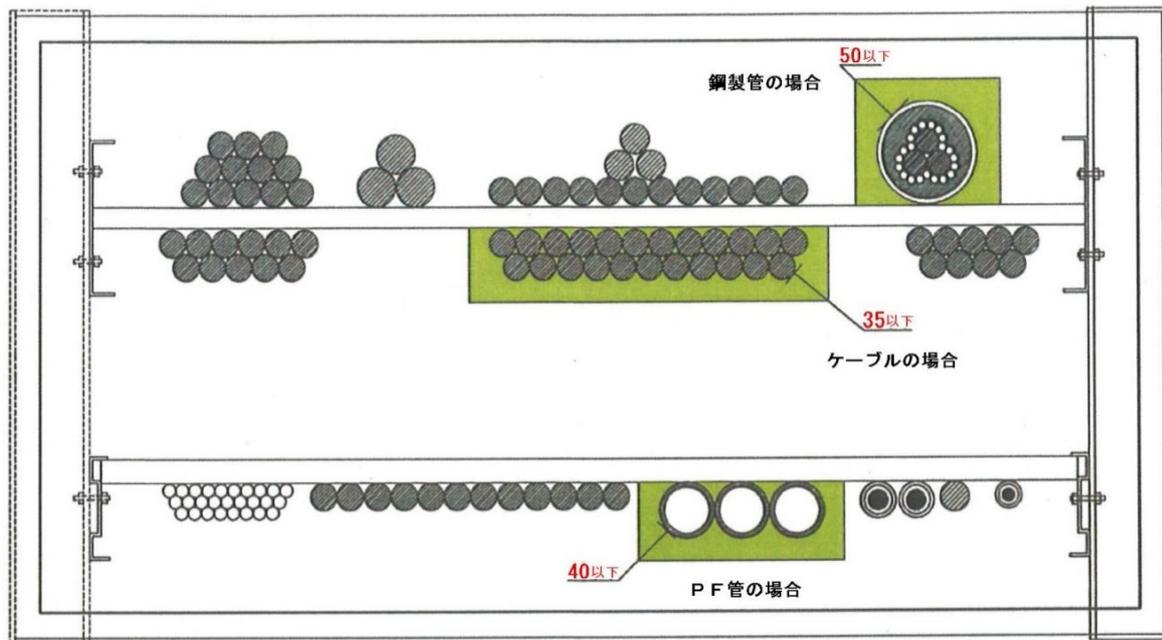


## 2 開口の大きさ

ケーブルのコーナー部は**35mm以下**。

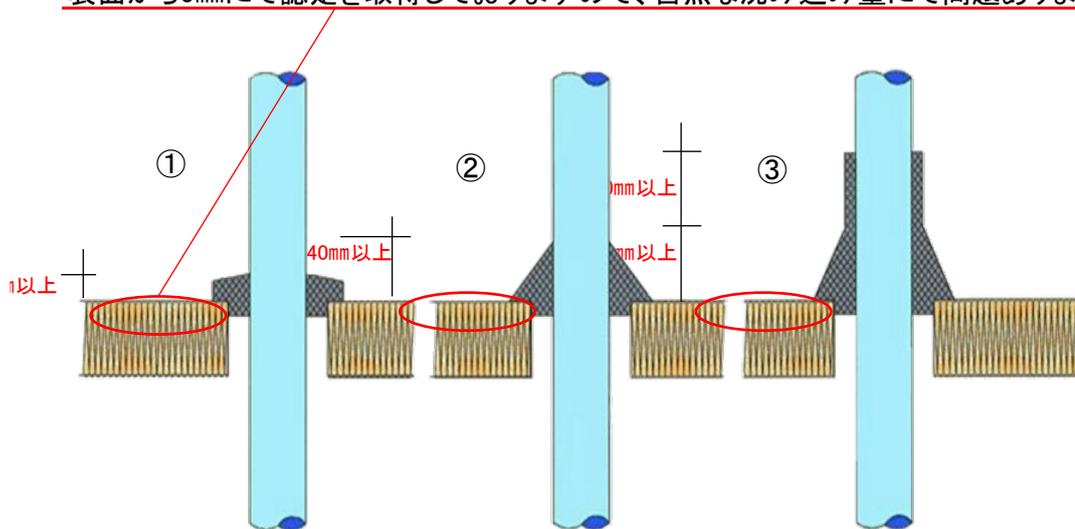
PF管のコーナー部は**40mm以下**。

鋼製管のコーナー部は**50mm以下**。



## 3 パテ盛り高さ

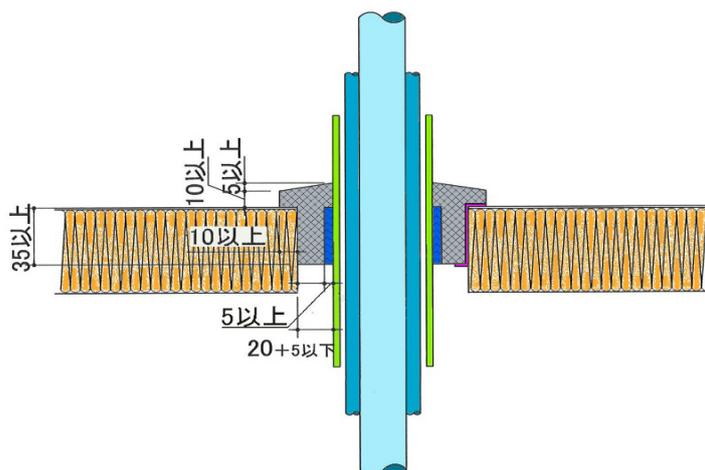
表面から0mmにて認定を取得しておりますので、自然な沈み込み量にて問題ありません。



ケーブルサイズに合わせて盛り高さを決めます。

- |   |         |    |
|---|---------|----|
| ① 100mm <sup>2</sup> 未満                       | 10mm    | 以上 |
| ② 100mm <sup>2</sup> 以上 325mm <sup>2</sup> 未満 | 40mm    | 以上 |
| ③ 325mm <sup>2</sup> 以上                       | 50+50mm | 以上 |

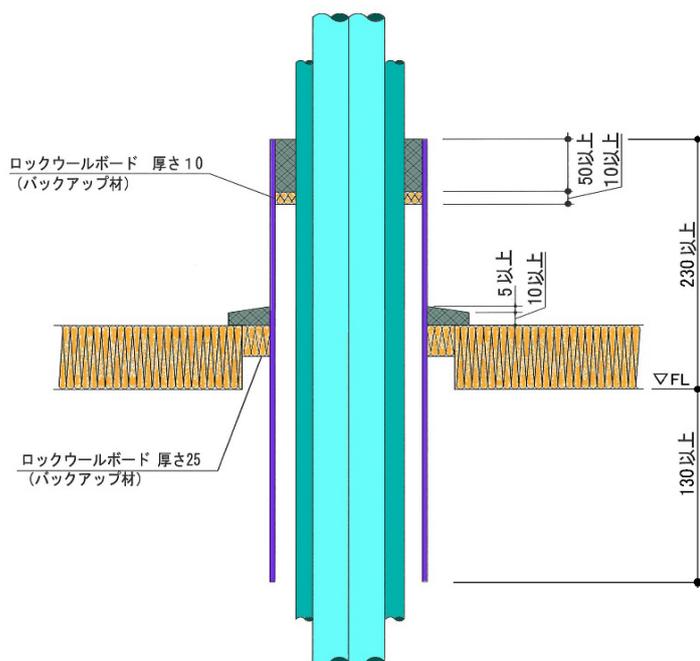
## PF管



**一般施工** 深さ規定35mm以上ですので、図の様にZ型金物を使用するか、ロックールを詰め35mm以内であることを確認し、J-パテ(TBXパテ)を5mm以上の厚さにて巻付け、J-パテを充填して下さい。

- ◎ **先行施工** 可とう管にJ-パテ(TBXパテ)、J-パテの順に巻付け、団子状にし、厚み、深さの確認後、ロックール板を加工し、はめ込みます。
- ◎ 合成樹脂可とう電線管はPF管のみとなりますので、CD管の場合は、PS060FL-0230・PS060FL-0243の仕様にてお願いします。

## 鋼製電線管



鋼製管内はロックール10mm以上を詰め、スペースが50mmあることを確認し、J-パテを詰める。鋼製管とロックールの間はロックール厚25mm以上。

※ブッシングは鋼製のみで、樹脂製は使えませんのでご注意ください。

お買求め  
株式会社ジャステック

愛知県みよし市福谷町花立53番地1  
TEL0561-76-6100

関東地区

株式会社ビーシージェー  
東京都台東区東上野1-13-2  
TEL03-5826-8580